

令和六年度 公立学校教員採用候補者選考試験問題

書道

1/4枚中

注意 答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。

第一問題 次の問に答えよ。

問1 次の(1)～(10)の書道に関する用語を簡潔に説明せよ。

- (1) 法帖 (2) 八分 (3) 連綿 (4) 双鉤法 (5) 文房四宝
(6) 露鋒 (7) 儂書 (8) 二王 (9) 為書き (10) 双鉤填墨

問2 次の(1)～(11)は何について説明したものか、答えよ。

- (1) 書に傑出した人に対する敬称。王羲之を指すことが多い。
(2) 衣服の袷に畳んで入れていた紙。のち、詩や和歌を書くようになり、形式ができた。
(3) 文字の習得と書法の学習のために作られた、四字句で二五〇種、文字の重複がない韻文。
屋根の軒瓦の先端にある円形・半円形の瓦。ここに文字や紋様がある。
(4) 書道の別称。「池に臨んで書を書び、池水尽く墨となる」からの由来。
(5) 墨を多く含んだ、にじみのある表現を「潤筆」というのに対し、かすれた線での表現をいう。
(6) 後漢に許慎が著した中国最古の字書。
(7) 点画を互いに反り合った形に書くこと。
(8) 平安時代中期を代表する三人の能書家、小野道風、藤原佐理、藤原行成をいう。
(9) 文字の書きぶりのことであり、筆者の個性や美意識、時代、風土などによって違いが生じる。
(10) 皇帝や祖先の名と同一の文字を用いるとき、はばかって点画を省いて書くこと。
(11) 皇帝や祖先の名と同一の文字を用いるとき、はばかって点画を省いて書くこと。

第二問題 書の歴史・理論について、ア～シにあてはまる語を答えよ。ただし、同じ記号には同じ語が入る。

篆書は最古の書体で、殷代のア、殷・周代のイ、周王朝末期、戦国時代の石鼓文に代表されるウと、秦代に完成を見たエの四つに分類される。アとイを合わせて古文と呼ぶ。

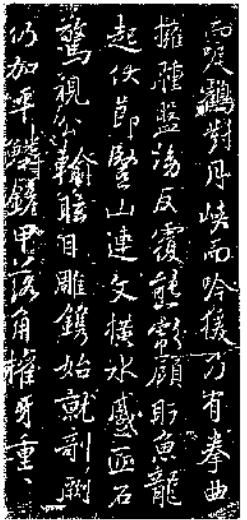
特に平安時代の仮名の音の伝統に立脚した書を「仮名の書」といい、仮名には次の種類がある。主に漢字一字に一言を当てる書き方で、「万葉集」に多用された仮名をオという。オを楷書や少し略した行書で書いたものを、真仮名、もしくはカという。オを書きで書いたものをキ、さらに簡略化したものをクと呼び、今の平仮名も含まれる。

書き上げた作品に、作者の証として書き入れる署名と押印のことをケという。紙に押印するための印肉はコと呼び、こまめに練ることが大切である。印を刻するための設計図をサという。最初の押印後、不十分な部分を修正するトをシという。最小限で済ませることが望ましい。

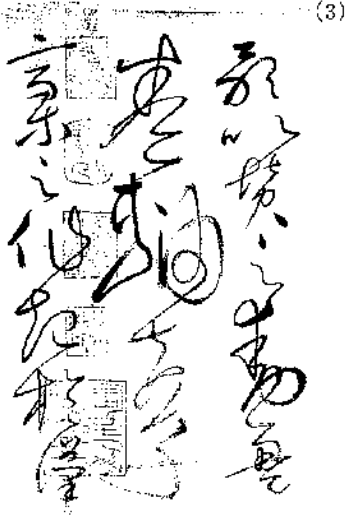
第三問題 次の(1)～(5)の作品名(または古典名)と作者名(または伝承者名)を漢字で答えよ。ただし、作者不明の場合には「×」で答えよ。



(1)



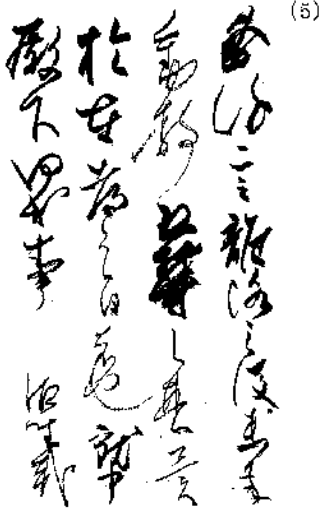
(2)



(3)



(4)



(5)

第四問題 次の問いに答えよ。

問1 次の作品を鑑み下し、すべてひらがなで記す。

一 草書 山崎闇斎の「山崎闇斎の書」

問2 次の作品の①～⑤の字母を答えよ。

① 山崎闇斎の「山崎闇斎の書」

② 山崎闇斎の「山崎闇斎の書」

③ 山崎闇斎の「山崎闇斎の書」

④ 山崎闇斎の「山崎闇斎の書」

⑤ 山崎闇斎の「山崎闇斎の書」

問3 次の作品の作者名を答え、⑥～⑩の草書を楷書で答えよ。

月好を傳唯此書境業
皆為是迹和嵩山表
裏子重雪落名高位
南彩は清系難久書

第五問題 次の問に答えよ。

問1 次の(1)～(6)は、書道Ⅰ及びⅡの授業における説明事項である。ア～コにあてはまる語句を答えよ。

(1) 平安時代初期、唐の文化が尊重されており、書においても同様に唐の骨格のしつかりした雄健な書が模範とされていた。中期以降になると遣唐使の廃止、ア文化の隆盛により、漢字も温和で流麗なものへと変わっていった。このような日本化された書風をイとよぶ。

(2) 楷書の特徴であるウの筆法は三世紀には見られるようになり、五世紀以降の北魏では刀意を生かした楷書が発達した。

(3) 楷書で角張った点画の書き方をエといい、反対に丸みを帯びた書き方をオという。後者の作品には「鄭義下碑」という鄭道昭が刻したカ(天然の外壁や巨石に文字などを刻したもの)がある。

(4) 「蘭亭序」は、王羲之がキという詩歌の会を開いたときに詠まれた詩集の序文の草稿である。

(5) 孫過庭の「書譜」にはクが見られ、これは紙の折り目を筆が横断し、節のような筆画となって現れた部分である。

(6) 清代には、法帖を基に王羲之を主とする書を継承したケに対して、古代石刻資料などを研究し、書に新しい流れをもち込んだコと呼ばれる一派が出現した。

問2 書道Ⅰの最初の授業において、生徒から「教科書に載っている手本が白黒反転しているのはなぜか」と質問があったとき、どのように説明するか、記せ。

問3 書道Ⅰの授業において、蘭亭序を学習する際、生徒から「印が沢山押されているのはなぜか」と質問があったとき、どのように説明するか、記せ。

問4 漢字仮名交じりの書の学習において、生徒が、漢字は古典を踏まえて作品を制作しているが、仮名は踏まえていなかった場合、漢字と仮名を調和させた作品を仕上げるためにどのように指導するか、記せ。